|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 様式第９号 | 申出番号 |  |
| 報告書（統計法（平成19年法律第53号）第36条関係）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日厚生労働大臣　殿所属及び職名氏　　　　名　　　連絡先所在地連絡先電話番号連絡先e-mail　　　　　年　　月　　日付け依頼書により提供を受けた匿名データによる　　　が完了したので、下記のとおり報告します。記 |
| １．提供を受けた匿名データの名称 |  |
| ２．統計又は統計的研究の成果の概要 | （１）統計又は統計的研究の成果の名称 |
| （２）匿名データを利用した期間及び研究等の実施期間等 |
| （３）統計又は統計的研究の成果の概要（匿名データを利用して行った研究の成果、教育内容、国際比較の結果、国際比較統計等の提供の状況又は事業等の内容を含む。）※　記入しきれない場合は、別紙に記載し当該別紙を添付する。 |
| （４）匿名データを利用して行った研究の成果、教育内容、国際比較の結果、国際比較統計等の提供の状況又は事業等の内容の公表（統計法第36条第２項の規定により準用する同法第33条第４項の規定により行う公表を除く。）・論文（名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・報告書・書籍（名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・学会・研究会等で発表（名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・学会誌等に掲載（名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）○ 上記の発表時期（※予定の場合その予定時期を記載　　　　　　　　　）※上記内容について、インターネット上に関連の掲載がある場合は、併せてリンク先を掲載すること。※　上記内容について、インターネット上に関連の掲載がある場合は、併せてリンク先を掲載すること。 |
| （５）公表関係（統計法第36条第２項の規定により準用する同法第33条第４項の規定によるもの）

|  |  |
| --- | --- |
| 公表事項 | 公表内容 |
| ① 統計の作成又は統計的研究を行うに当たって利用した匿名データを特定するために必要な事項 |  |
| ② 統計の作成又は統計的研究の方法を確認するために特に必要と認める事項 |  |
| ③ 統計又は統計研究の成果について、掲載される学術雑誌等の名称及び掲載年月日 |  |

※　上記③は、(4)の公表のうち代表的かつ一般的に入手が困難でないものとする。※　上記以外の公表事項の公表内容（統計若しくは統計的研究の成果又はその概要を除く。）は、特段の理由がない限り、依頼書（統計法（平成19年法律第53号）第36条関係）７の内容による。○　統計若しくは統計的研究の成果又はその概要を公表するに当たって特別な事情等があれば下記に記載すること。 |
| ３．匿名データ利用後の措置状況 | ・措置の方法：・措置を行った年月日：　　　年　　月　　日・措置の責任者名： |

備考１　やむを得ない理由により研究が中断した場合など「２．統計又は統計的研究の成果の概要」が示せない場合は、該当欄に中断するまでに実施した研究の内容を示すとともに、結果を示せない理由を記載すること。

 　２　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。